



悠遊舎えどがわ 地域活動支援センターⅢ型

132-0035 江戸川区平井1-9-6 大徳ビル1階
TEL&FAX: 03-5626-2998/IP電話: 050-1564-7807
E-mail: u2edogawa@ybb.ne.jp

第二悠遊舎えどがわ 就労継続支援B型事業所

レインボーハウス

132-0035 江戸川区平井1-6-10 チェルシー泉1階
TEL: 03-5628-2706/FAX: 03-5628-2707
E-mail: u2edogawa@ybb.ne.jp

喫茶「絆」

132-0035 江戸川区平井1-3-12
TEL: 03-3682-6567

悠歩舎 地域活動支援センターⅢ型

132-0023 江戸川区西一之江4-1-6 啓成ハイツ松江1F-A
TEL: 03-3654-3557/FAX: 03-5663-1781
E-mail: yuuhosya@gmail.com

YSG 就労継続支援B型事業所

気まぐれ飛行船 <http://k-hikousen.com>

132-0023 江戸川区西一之江3-1-2
ライオンズマンション親水公園南102号
TEL: 03-3656-4252

土の夢

132-0023 江戸川区西一之江4-16-11前波ビル1階
TEL&FAX: 03-3655-7224
E-mail: ysg@oregano.ocn.ne.jp

相談支援センター

悠とピア

132-0023 江戸川区西一之江4-1-6 啓成ハイツ松江1F-A 悠歩舎内
TEL&FAX: 03-5879-9377/E-mail: utopia_edogawa@outlook.jp



- 普通の文章でも、詩歌、絵・イラスト・漫画、写真など、随時募集しております。
- 掲載ご希望の方は投書箱への投函かお近くのスタッフまで、お願いします。
- コメントナサイ…投稿くださっても編集会議で“没”とさせていただくこともあります。
- 絵や写真などを投稿される場合は、最大A3=42×30センチ程度でお願いします。
- なお、誌面の関係で頂いた原稿よりかなり小さくなる場合があります。
- カラー原稿でも問題ありませんが、予算の都合上、印刷は通常白黒となります。
- また、文章を書くのがシンドイと感じる方は、インタビュー方式で致します。

サボ展会議

●コロナの影響もあって、延び延びとなっていたサボ展ですが、来年の11月に開催を予定しています。会場はタワーホール船堀の1階、展示ホール1か2を7日間借りて、5日間の開催(搬入・展示・後片付けで2日間)です。

●サボ展の実行委員を募集しています

私達と一緒にサボ展開催へ向けて活動したいな、と考えている方は各所のスタッフまでお申し込み下さい……随時募集しています。

●サボ展の会場は広いので、皆さんの作品を募集しております。写真・絵画・詩歌など壁に貼れるもの

だけでなく、机の上に展示できる各種グッズなども大歓迎です。

開催までにはまだ1年以上ありますので、ぜひ皆さんの作品を()よりしくお願いします。



■サボ展会議、運営委員会&広報会議のお知らせ

- サボ展会議は9月16日(金) 午後3時から、会場は悠遊舎えどがわです、ぜひお越し下さい
- 運営委員会&広報会議は9月27日(火) 午後2時半から、会場は小松川さくらホールの和室です

遊歩道

遊歩道 YouHODO 第98号 / 2022年9月6日発行

発行: 特定非営利活動法人 えどがわ悠人会

連絡先: 132-0035 東京都江戸川区平井1-9-6 大徳ビル1階

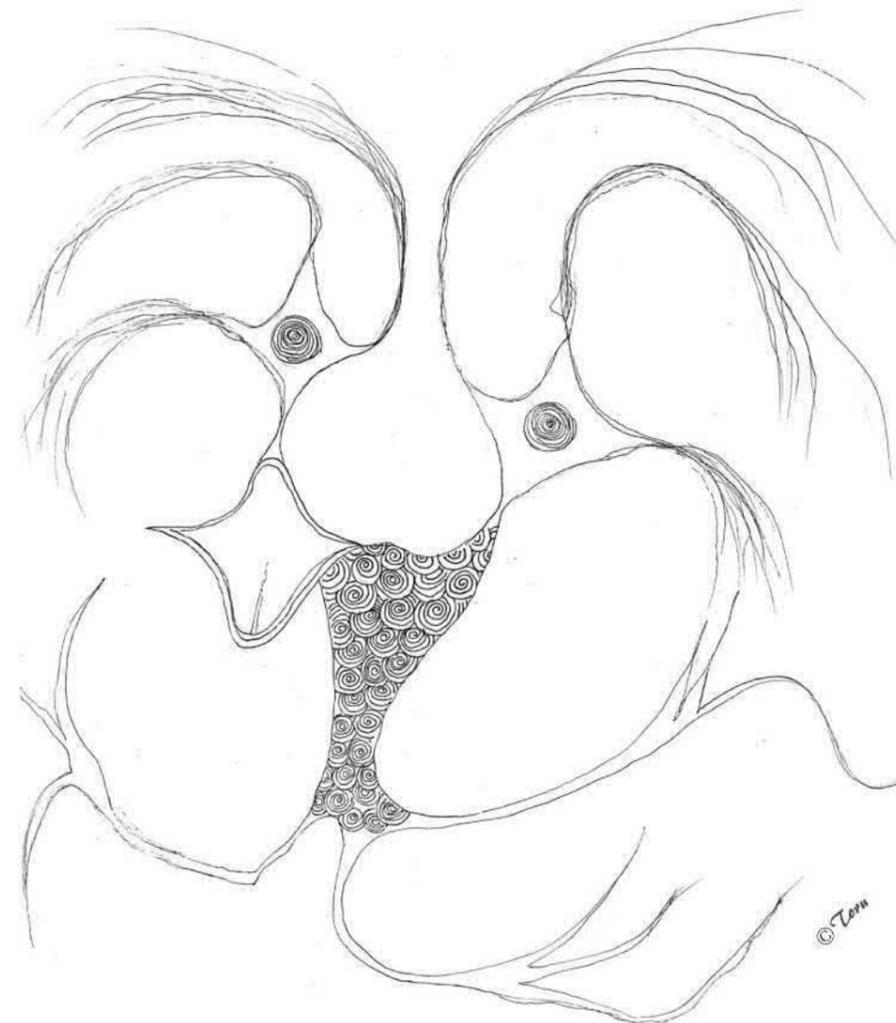
TEL・FAX 03-5626-2998 / IP電話 050-1564-7807

E-mail: u2edogawa@ybb.ne.jp

P6~7

スタッフへのインタビュー!

相談支援専門員 川口 諒さん



2022年

9月

令和4年

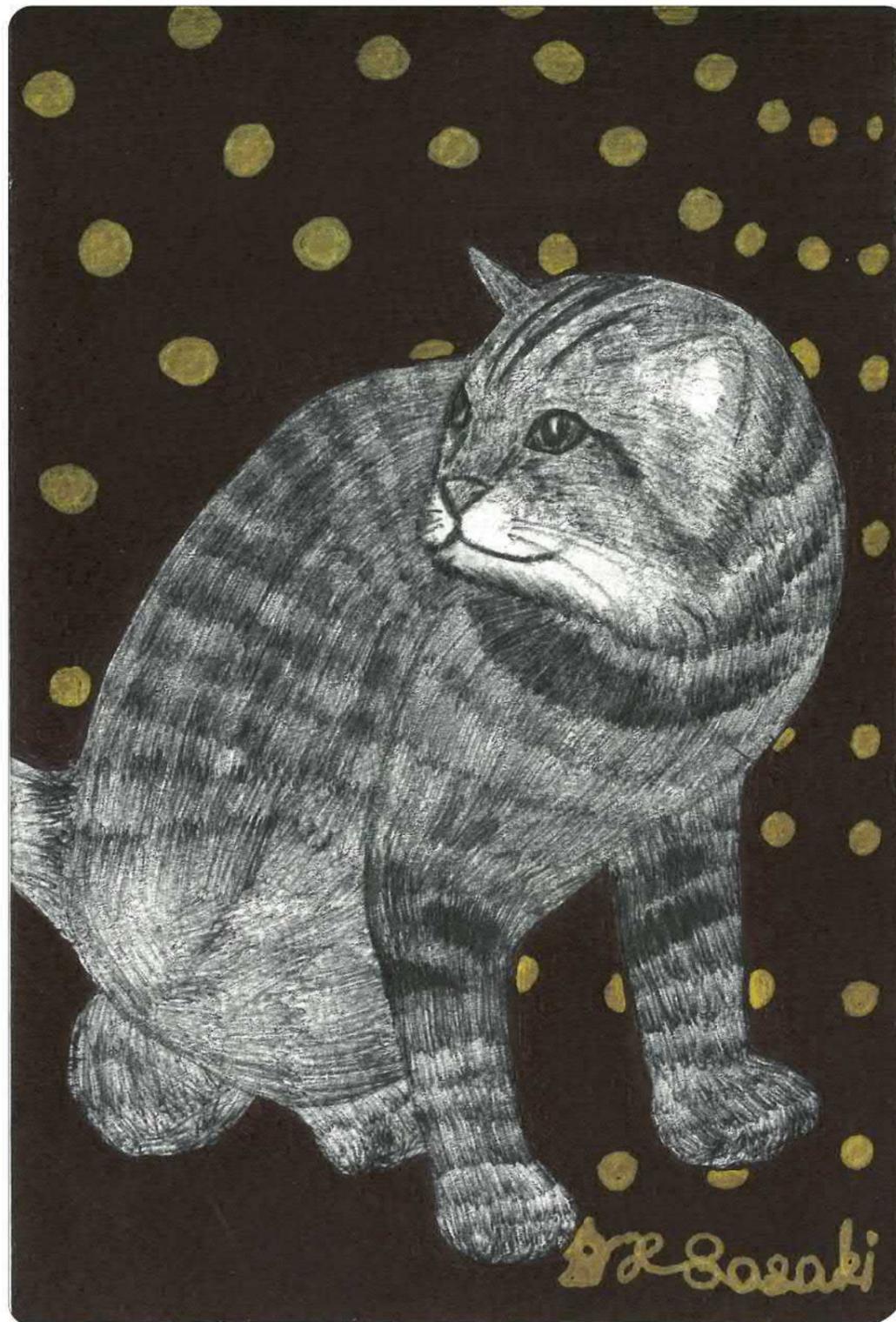
◆えどがわ悠人会・9月予定表◆

9P: 悠遊舎、10P: 悠歩舎、11P: YSG

ホームページは現在メンテナンス中で

内容が更新されておられません。

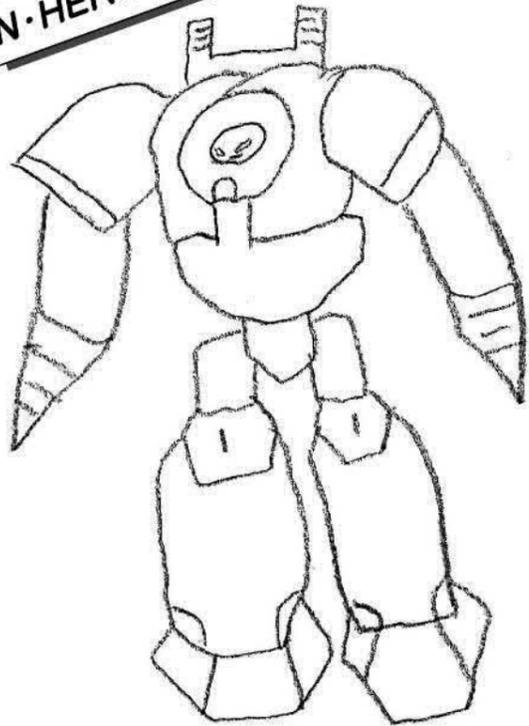
ご迷惑をお掛けしますが、今しばらくお待ち下さい



佐々木 賢太郎

投稿の広場

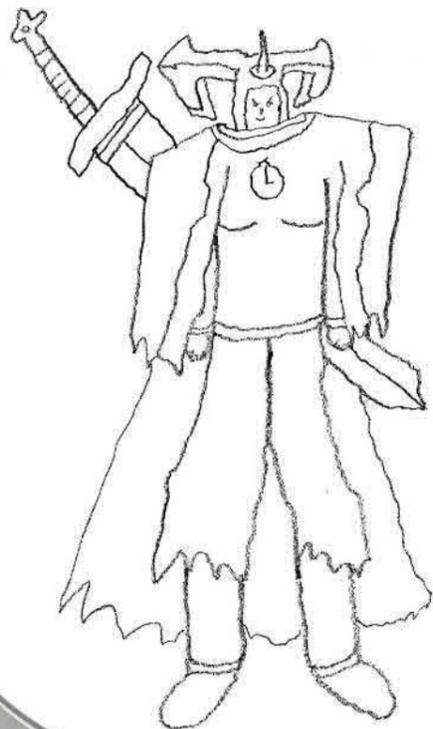
N-HERO グラン・クレイマン



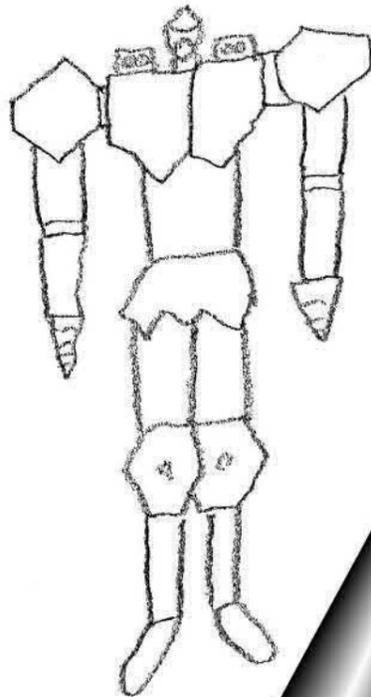
青眼・破壊の白龍



光炎の剣士 レベル8光



貫通壊獣



武野

投稿の広場

残暑お見舞い申し上げます!!

今年の夏もまれに見る暑さでしたね…….

昨年も暑かったけれど、年を重ねるごとに暑さがひどくなっていく気がするのは私だけでしょうか。

作業所に通う足取りも毎日重いものになってしまい、何よりも当たり前のようにコロナは終息する陰りもなく、あちらこちらの作業所もクラスターが発生し、私の周りでもポツリポツリと発症者が出ている。

幸い私の家では娘と2人なので、

お互いに意識しあい生活をしていて、取り分け娘のほうがテレワークで在宅勤務なので、毎日作業所まで出歩いている私の方が感染リスクは高いといえる、トホホ。

とにかく私は去年のクーラー騒動のお陰で今年は電気代との闘いが始まっている。

けれど涼しさには代えられない。

ということで、残暑お見舞いかたがた近況報告まで(_)

マダムから愛を込めて♡



葛西臨海水族館





川口 諒^{りょう}さんに 聞いてみました!

今回は、8月から相談支援センター“悠とピア”で相談支援専門員として頑張っている川口さんに、大井・堀・奥田・元木がインタビューしました。

……昨年の4月に第二悠遊舎えどがわに勤められ、現在は相談支援センター“悠とピア”で活躍されている川口さんへのインタビューということで、皆さんドンドン質問して下さい。

——早速ですが、川口さんの初恋はいつ頃で、どんなことがありましたか？

K：小学校4年生の時だと思います。教室では誰が誰が好き？と言った話題で何度か盛り上がったことがあり、男子だけの集まりの中で私はAさんが好きとはっきり言いました。一方、女子は女子同士で誰が好きなの？と話し合ったりしてましたね。そんな中で、友人を介して両思いなんだと確認でき……じつはAさんから手紙をもらい嬉しかったですね。小学校を卒業するまではお互いに意識し合っていたのですが、中学に入学する頃には自然に解消されて、お互いに意識することもなくなりました。

——中学・高校時代に得意な科目、不得意な科目を教えてください

K：小学校からずっと陸上をやっていたので体育は得意でした。でも数学が苦手で、計算問題はダメでした。高校の時は数学が赤点で先生からは“このままでは卒業も？”と心配されていました。逆に社会、特に日本史が好きで、たとえば明治時代になって色々な変化があり、そういう変わっていく流れみたいなものに興味を引かれました。

——先ほど陸上競技と話されてましたが、種目や成績の方は？

K：走り幅跳びは関東大会まで出て、県内では3位だったかな？ともかく関東大会となると7m以上を跳ぶ選手がいて、自分は6m90でした。7mの壁は厚かったです。また100mは11秒で、10秒台の選手が何人かいて、世界は広いなと実感しました。また“記録”というの伸びるときは伸びるのですが、伸びなくなると全然ダメで……。

——高校から大学へと進まれ、当時の夢、将来の目標などは？

K：ずっとスポーツばかりをやっていたので、勉強はしたいなと。特にニュースなどを見ていて、法律を勉強したいと思い、それで法学部に。将来的には法律を活かせる職業につけたらと、でも現実には難しく、またアルバイトの経験もなく、取りあえずは実社会の経験を積んでいって、好きなことが見つかりたいと思っていました。

——大学を卒業されてからは、どんな仕事を？

K：最初はコールセンターの仕事を、1日に100件以上の電話を取って、大変でした。次は叔父が経営していた会社で、学校への教材販売の仕事です。これは小学校や中学校に出かけて行って、たとえば理科で使う教材や図工で使う絵の具などを買っていただく営業でした。まあ売れば学年単位、たとえば1学年で約300人とすると、その人数分を購入していただけるメリットがありますね。

ですが、この仕事も長続きしませんでした。というのは叔父が高齢で、後を継いでくれる人材を求めていることもあって、私に声が掛かったのですが、勤めて2年目の時に叔父が倒れてしまい、私では会社の経営などは分からないもので、辞めることにしました。

その後はコンビニ・スーパーなどで、品だしから発注、レジ打ちなど。しかも色々なお店に行く派遣の仕事で大変でした。たとえばレジも同じ規格ではないので、それぞれの店でレジの打ちかたも違ってきます。また、勤務時間帯もバラバラで……。

——コールセンターやコンビニの仕事は川口さんには全然向いていないよね(一同、爆笑)

K：そうですね、いま思えばどれもこれも厳しかったですね。

(以下、次ページへ→)

30歳になって福祉の専門学校に、社会福祉士の資格を取るために、当時は夜間でした。夜の6時から10時まで。入学したのが4月で、翌年の2月に国家試験、そのために17課目？を勉強して何とか合格しました。

——福祉に興味・関心をもたれたのは何か切っ掛けがあったのですか？

K：おばあちゃんが高齢になっていて、介護を必要とする段階で、最初は家族で面倒を見ていたのですが、足も動かなくなり、家では限界かなと、施設にお願いすることになって、その辺りの状況を実際に間近で見ていたもので……。また第二悠遊舎に勤める前にしていたのが生活困窮者の方への支援、ホームレスの方々の支援をしていました。じつはテレビで生活保護の特集番組をやっていて、支援団体の方がインタビューに応じて、私などが知らなかった世界のことを説明するのを聴いて、ひょっとして自分の持っている法律の知識が少しは役立つのでは？と勝手に思い込んで、福祉の専門学校に行きました。しかも偶然にもテレビでインタビューを受けていた方が先生として来ていたので驚きました。その先生のところでボランティアなどをしながら色々な実務を身につけながら、卒業後はさいたま市を拠点とする“ほっとプラス”で働きました。そこは制度やサービスに繋がっていない方々がほとんどで、それを一から繋げていくんですけれど、見ていて精神的な問題・障がいを抱えているのでは？と思われる方が多いなと感じました。もちろん皆さん、精神科の医師にかかったこともないので、自分がどういう病気なのかも分からず悩んで苦しんでいる状況でもありました。私も社会福祉士の資格は得たのですが、精神的な分野はほとんど分からない状態で、ホームレスの方々の支援を活かせれば、精神障害と思われる方々が病院に行けたらと……その時に地域移行支援、地域定着支援などがあるのを知りました。そんなことがあって、地域移行支援などを行っている足立区の地活1型の法人に勤めながら精神保健福祉士の資格もとって、今日に至ってます。

——最初に精神病院に行かれたときはどんな感想でしたか？

K：勤務先が足立区でしたから、病院は多くあり最初に行って見たのは東京足立病院です。病院自体が大きく、綺麗だなと。もちろんエレベーターなども鍵を使っていて気になりましたが、全体的には違和感みたいなものはなかったです。ただ、仕事内容として色々な病院に行くこともあり、なかには凄いなど

感じる病院もありました。

——そんな経験を積まれた川口さんですが、昨年勤めた第二悠遊舎はB型ですが？

K：地域での支援をしてきて、就労継続支援B型は初めてのため不安はありました。実際にやってみたら難しく、ホントに反省の日々が続く毎日で、あっという間に1年が経ってしまい、それでも現在はこうして相談支援センターの仕事を立ち上げさせて頂き、悠人会の皆さんには心から感謝しています。

——話しは変わりますが、川口さんは千葉・浦安のご出身で、小さい頃はすごい腕白だったとか？

K：小さい頃、知らない人の後ろについて行って駅の改札をくぐり抜け、ホームに立っている。そしたら警察に保護された、ということが何回かあります。3~4歳の頃ですから詳しくは覚えていませんが、駅の近くに交番があって、そこのおまわりさんが好きで、家から裸足で交番に遊びに行き、そのついでに駅のホームへと向かったのでは？まあ、裸足の子供が駅のホームでウロウロしてたら警察が来て保護されますね。

他には、三輪車で駄菓子屋に突っ込むのも好きでした。橋が坂になっていて、ペダルをこがなくても走り出すのが面白くて駄菓子屋に突っ込んだということなのかな、と思います。

そんなことをしてたら父からお灸を据えられました。厳しく注意されるという意味ではなく、本当に肌の上にもぐさを置かれ、燃やされました。

——ご趣味などは？

K：ご飯を食べること、1日に7合ぐらいは食べるかと(一同唖然!)。あとは音楽が好きです。イベントやコンサートも楽しめるマイナーと言いますか、地下アイドルが特に好きです。

——では、最後に、これからの抱負をお聞かせ下さい

K：相談支援を立ち上げて頂いた、その責任の重さですかね……必要としている方々に気軽に利用して頂きたい、それにはまず、こういった制度があることを知って頂きたい。そこから広がりを持って地域移行支援、地域定着支援などの大切な支援も出来るように頑張りたいと心から願っていますので、どうか宜しくお願いします。



歌い踊る川口さん

投稿の広場

遺言

作：S.R.

「弟の遺言……お前は後ろ向きだ。お通夜でもめぐるまい。
 「兄の遺言……ケンカで負かされても仕事で勝て！
 「母の遺言……くよくよくなるよ。たしかならぬ。
 「父の遺言……本をいっぱい読め。」

【悠遊舎・レインボーハウス・絆】9月予定表

悠遊舎：朝 10 時～夕方 5 時
 第二悠遊舎：朝 10 時～夕方 4 時
 (電話は夕方 3 時半迄)

月	火	水	木	金	土	日
			1 100円パーティー 第三者評価 聞き取り調査	2	3 青首あひる	4
5 運営会議	6	7 職員作業日 14 時閉所	8	9	10 青首あひる	11
12 麻雀大会	13	14	15	16 サボ展会議 午後 3 時～悠遊舎 事務局会議	17	18
19	20 ← 是日の予定 →	21 ← 整体候補日① →	22	23	24	25
26 運営委員会 14 時半～ 広報会議～17 時迄 ※小松川さくらホール	27 ← 整体候補日② →	28	29	30		

コロナ対応のため、電話・相談対応の時間帯は
朝10時10分以降にお願いします！

悠歩舎9月予定表

お問い合わせ・昼食会のご予約：03-3654-3557 (担当：田中) / 昼食会の電話予約 (留守電も含め) は当日11時15分まで / 【12 時間所日】は10時半までにご連絡を！

月	火	水	木	金	土	日
			1 10:00～17:00	2 10:00～13:00 バンド練習 14～17時 YSG共有 17時半～	3 青首あひる	4
5 10:00～17:00	6 10:00～17:00	7 10:00～17:00 CC 11時半～12時半 金銭サポート 12時半～13時半	8 10:00～17:00 見学 10～13時	9 10:00～17:00 会議 17～18時	10 青首あひる	11
12 10:00～17:00 見学 10～13時 金銭サポート 16～17時	13 10:00～13:00 職員ミーティング 13時半～	14 10:00～17:00	15 10:00～17:00 見学 10～13時	16 10:00～15:30 サボ展会議 15時～悠遊舎 事務局会議 16時半～	17	18
19 休み	20 10:00～17:00	21 10:00～17:00	22 10:00～17:00 見学 10～13時 悠歩舎運営会議 13時半～15時 夕食会 16～20時	23 休み	24	25
26 10:00～17:00	27 10:00～13:00 運営委員会 14時半～ 広報会議～17時迄 ※小松川さくらホール	28 10:00～17:00	29 10:00～17:00 見学 10～13時 二毛会議 13時半～15時	30 10:00～13:00 バンド練習 14～17時		

YSG・9月予定表

開所時間 10:00～16:00 【コロナ状況によっては時間変更します】

月	火	水	木	金	土	日
			1 陶芸 カフェ掃除……………午前 ユニフォーム洗濯……………午前 立て看&カフェ練習……………午後	2 陶芸 カフェ 第三者評価メンバー	3 カフェ 陶芸会議……………午前 陶芸教室……………午後 リペア会議……………午後	4 休み
5 陶芸 カフェ レク：カフェ巡り	6 陶芸 カフェ 第三者評価メンバー	7 休み	8 陶芸 カフェ掃除……………午前 ユニフォーム洗濯……………午前 お菓子仕込み	9 カフェ(お菓子販売) 陶芸教室……………午前 陶芸……………午後	10 カフェ(お菓子販売) 陶芸……………午前 コットンパール……………午前 陶芸教室……………午後	11 休み
12 陶芸 カフェ レク：スーパー銭湯	13 陶芸 カフェ ユニフォーム洗濯？ 園芸部買い出し？	14 休み	15 陶芸 カフェ掃除……………午前 オレンジカフェ13時半～ お菓子仕込み	16 陶芸 カフェ(お菓子販売)	17 カフェ(お菓子販売) 陶芸……………午前 陶芸教室……………午後	18
19 休み	20 陶芸 カフェ ユニフォーム洗濯 運営・経営会議……………13:30～ 15 時間所	21 休み	22 陶芸 カフェ掃除……………午前 ユニフォーム洗濯……………午前 立て看&カフェ練習……………午後	23 休み	24 カフェ(お菓子販売) 陶芸……………午前 コットンパール……………午前 陶芸教室……………午後	25 休み
26 陶芸 カフェ	27 ※運営委員会 14:30～ 広報会議 (小松川さくらホール) 陶芸……………午前 カフェ……………午後 ギター教室……………午後	28 休み	29 陶芸 カフェ掃除……………午前 ユニフォーム洗濯……………午前 14 時間所(職員作業日のため)	30 陶芸 カフェ		